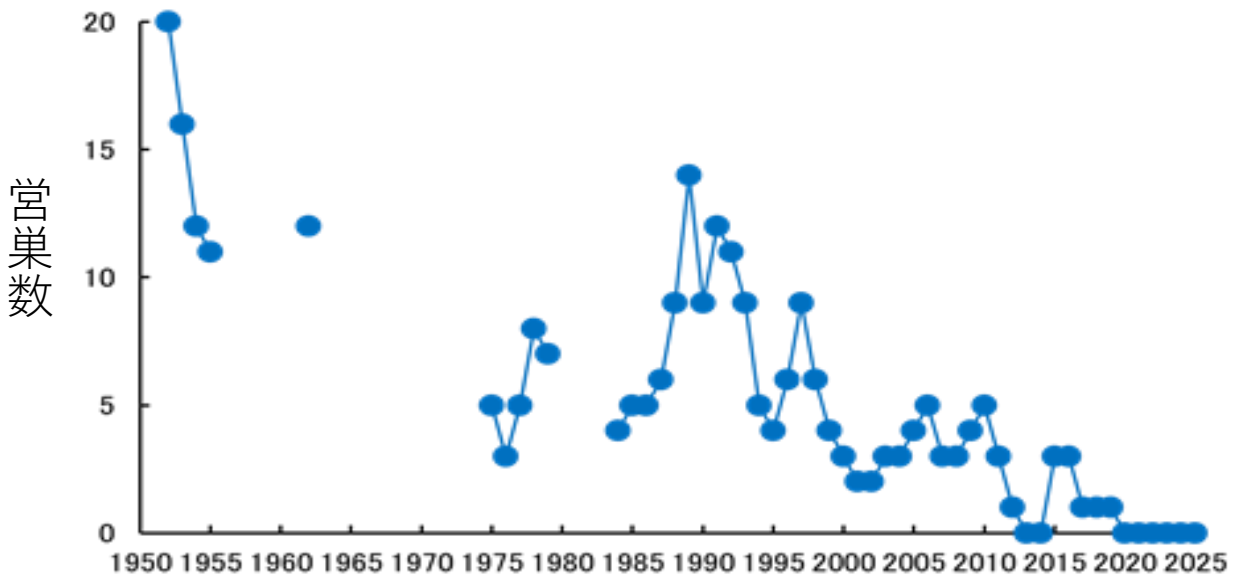


1 チョウゲンボウの営巣状況



○2025年の営巣はなし（6年連続）

○オス個体が12月に飛来

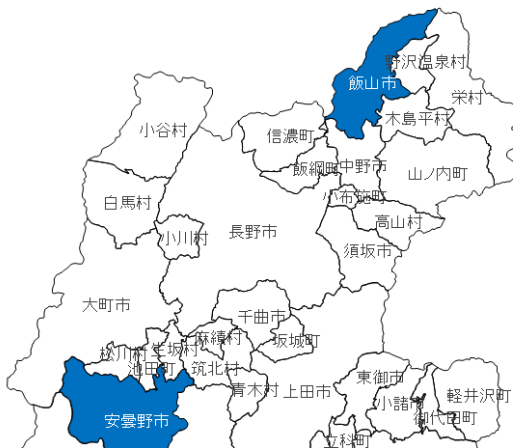
2 国庫補助事業 天然記念物再生事業 モニタリング調査

○減少理由

- ①餌場の減少（周辺の水田・リンゴ果樹園の減少）⇒ブドウ果樹園の増加
- ②ハヤブサの定着（2010年より）
- ③崖面の植物繁茂による巣穴の減少
- ④地域個体群の減少（長野～飯山：近年は増加傾向）
- ⑤営巣場所で越冬個体の増加によるなわばり行動
- ⑥夜間瀬川河川敷での樹木の繁茂による天敵発見率の低下
- ⑦夜間瀬川河川敷における農作業の消失による天敵の接近

⑤営巣場所で越冬個体の増加によるなわばり行動

1980年代～1990年代



2025年



2 - 1 GPS調査

| 日付 | 捕獲場所 | 足環番号 (右足) | 性別 年齢 | 翼長 (NW) | 翼長 (MW) | 尾長 | 跗蹠 長 | 頭長 | 嘴峰長 (ろう膜 なし) | 嘴峰長 (ろう膜 あり) | 体重 (g) | カラー リング (左足) | GPS 番号 |
|------|------------|---------------|----------|------------|------------|-----|---------|------|--------------------|--------------------|-----------|----------------------|-----------|
| 5/13 | 岩井区 新幹線 | 8 A- 26182 | メス 成鳥 | 246 | 255 | 173 | 43.6 | | 13.3 | 16.8 | 261 | ピンク8(上) 赤07(下) | 0D0D |
| 5/13 | 須坂市 村山橋 | 8 A- 26183 | メス 成鳥 | 248.5 | 258.5 | 177 | 43.9 | 50.3 | 15.1 | 18.7 | 250 | オレンジ07(上) ピンク6(下) | 1008 |
| 5/15 | 赤岩区 新幹線 | 8 A- 26184 | オス 成鳥 | 239.5 | 250 | 173 | 43.5 | 49.7 | 16.4 | 19.8 | 191 | 黒07(上) シルバー10(下) | 1007 |

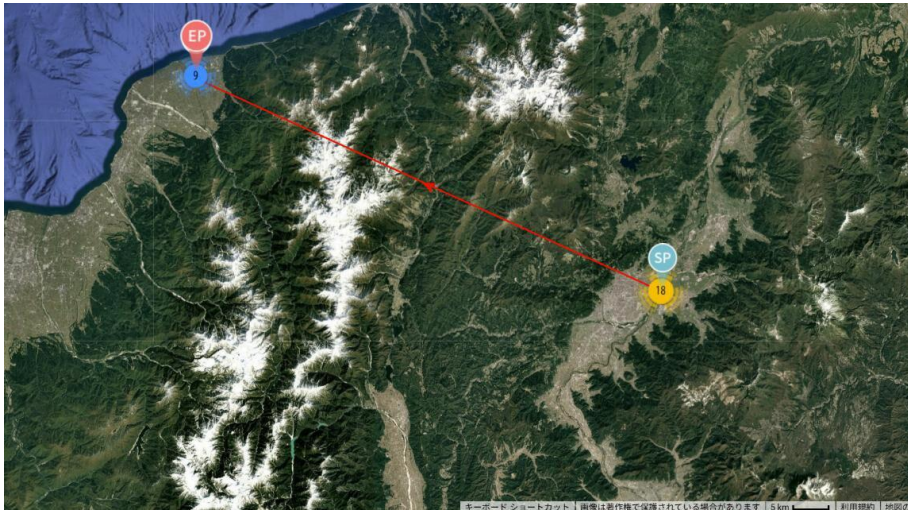
計測単位(mm)

中野市岩井区 メス成鳥

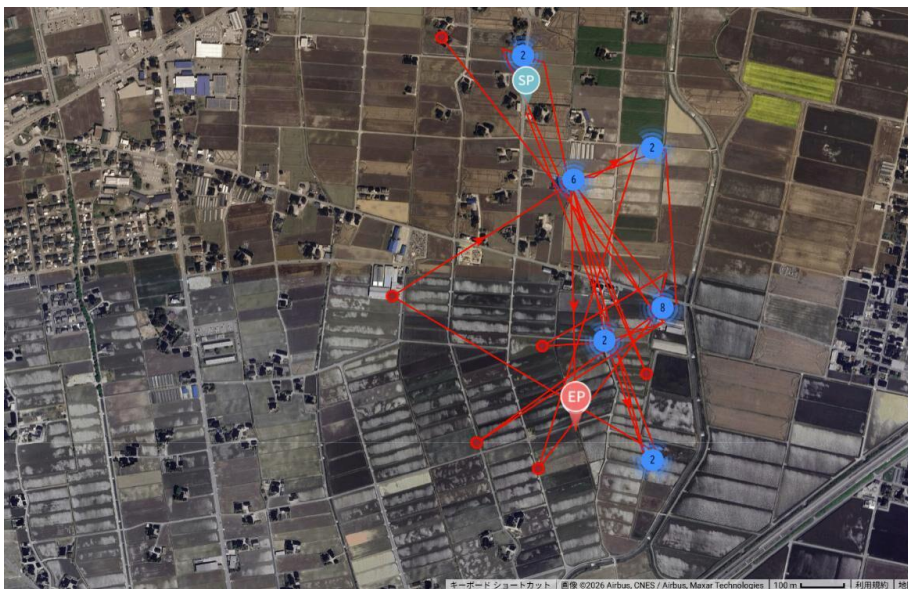


須坂市村山橋 メス成鳥

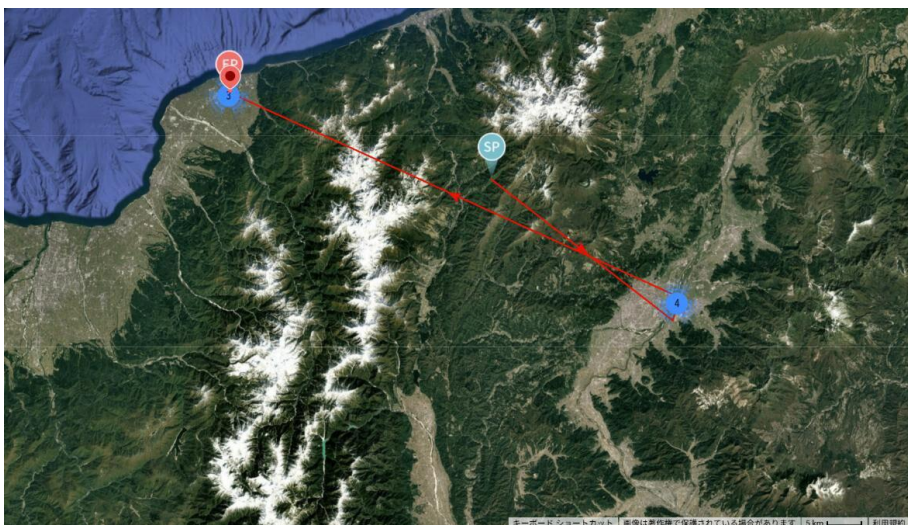




令和7年6月



令和7年10月



令和8年3月

⑤営巣場所で越冬個体の増加によるなわばり行動⇒越冬しない個体もいる



4 草刈り・灌木伐採作業

○11月11日と13日に実施

- ・つる性植物の崖への繁茂を防ぐために、崖下を草刈り。
- ・餌場創出のために、夜間瀬川に近い位置を草刈り。
- ・天敵発見率向上のため、灌木を伐採。



令和7年11月 伐採前



令和7年11月 伐採後



草刈り・灌木伐採作業前（令和7年10月）



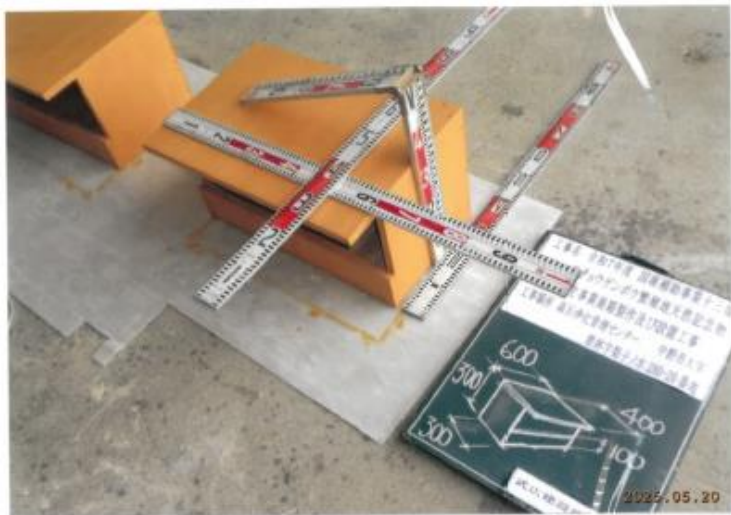
草刈り・灌木伐採作業前（令和7年12月）

⑥夜間瀬川河川敷での樹木の繁茂による天敵発見率の低下
⇒樹木伐採により営巣場所としての価値が向上

4 国庫補助事業 天然記念物再生事業 巣箱製作及び設置

○ 5月26日に高丘浄化センターに2基設置

昨年江部の巣箱で繁殖失敗。現在江部と高丘につがい定着中。



ライブカメラC地点動画まとめ (2026/02/28~03/06)

[過去動画はこちら](#)



⑦夜間瀬川河川敷における農作業の消失による天敵の接近

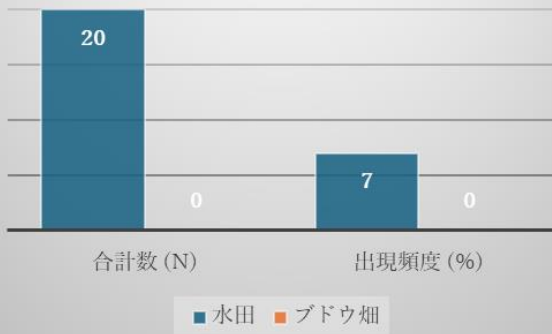
2-2 採餌場環境解析

GPS個体が、とまり・ホバリングした地点とブドウ果樹園の植物種数等
およびハタネズミの穴数を調査し、比較。

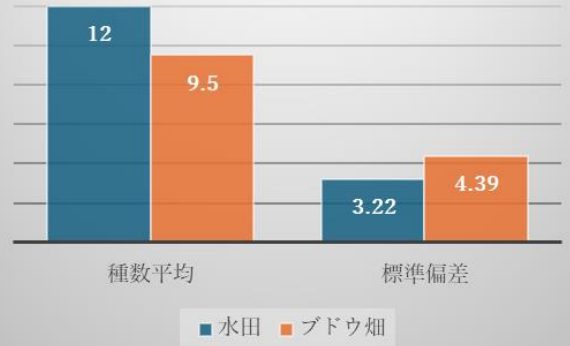
6月、8月、10月、11月-12月に現地調査実施。



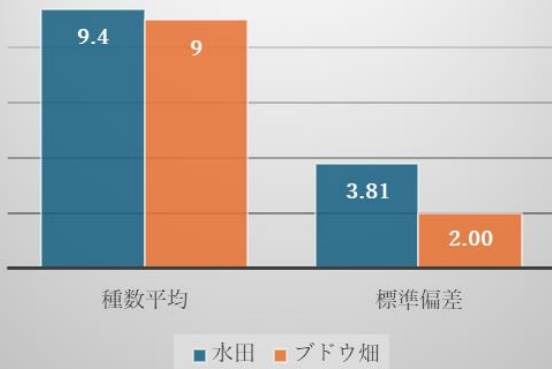
ネズミ類の坑道穴数 (6月-12月)



植物出現種数 (6月)



出現種数 (8月)



出現種数 (10月)



出現種数 (12月)



①餌場の減少 (周辺の水田・リンゴ果樹園の減少)

⇒ブドウ果樹園の増加

⇒ブドウ果樹園は植物の多様性が低く、ハタネズミの生息密度も低い

6 集団営巣形成要因

- ・ 営巣場所周辺の広く餌密度が高い（植物多様性が高い）餌場
- ・ 集団化による警戒時間の減少させる利益⇒天敵の存在
- ・ 越冬により南下し遅く帰還する若齢成鳥の営巣地
⇒成鳥（特にオス）は留鳥性が強い（GPS追跡調査・観察調査）
- ・ 健全な地域個体群
- ・ 利用可能な多くの巣穴
- ・ 天敵の発見率、接近の阻害要因（農作業等）

7 営巣数再生のための施業

- ・ 十三崖周辺の農地の餌場化（ハタネズミ・小鳥・昆虫）※オスの餌場
⇒餌場の調査（委託業務）
⇒ブドウ農家との協働
⇒ブドウ生産に影響のないチョウゲンボウが採餌可能な栽培法の開発、
植物多様性の向上
⇒自然共生サイトの認証
- ・ ハヤブサの巣場所をチョウゲンボウの巣穴に整備
- ・ 利用可能な巣穴確保のための崖下の草刈り（委託業務）
- ・ 河川敷内での餌場の創出のための草刈り（委託業務）と植物多様性の向上
※メスの餌場
- ・ 天敵発見率向上のための灌木伐採（委託業務）
- ・ 地域個体群増加⇒巣箱設置（工事発注）
- ・ 営巣場所近くでの作業

8 普及啓発

- ・ 十三崖チョウゲンボウ探鳥会
5月17日（土） 十三崖対岸河川敷 参加者13名 ※雨天
- ・ 十三崖チョウゲンボウ勉強会
11月22日（土） 北部公民館 参加者28名